

ナマコでサプリメントを開発、

漁業の新しい形態に可能性

株式会社

磯のや

代表取締役

田中史朗さん



田中史朗さん

“新しい漁業”の確立をめざして

水産資源の枯渇、魚価安、後継者不足等、漁業を取り巻く深刻な問題に頭を抱えながらも希望を捨てず、独自の着眼点と地道な努力でビジネスチャンスを開拓。“ナマコのサプリ”という新機軸を得た株式会社磯のやは、自ら目標に掲げる“新しい漁業”の確立に向けて着々と歩を進めています。

同社代表の田中史朗さんは、舞鶴育ち。神戸でサラリーマン生活を送っていた時期もありますが、やがて故郷に帰り「親の跡でも継ごうかな、という安易な気持ち」で漁業の世界に飛び込みました。しかし漁師の仕事だけでは次第に厳しくなり、ワカメの味付け加工販売や遊漁船の兼業で生計を立ててきたといいます。

「若い頃はそれで平気でも、今後は体力的にきつくなっていく。業界の先行きを考えても、従来の漁業ではもうダメだなと考えはじめていました。水産物に付加価値をつけて提供する形態で、何かいいアイデアはないかと模索していたちょうどその頃、息子が大学を卒業して帰ってきた。漁業をやると言うものですから、これまではおぼろげに捉えていた問題が現実的になったわけです。そこでナマコに目を着けました」。



モニター用につくったサンプル品

ナマコのサプリ化に本格着手

ナマコの漁獲・販売は従来も行っていましたが、それは獲ってそのまま市場に卸す一次産業的な作業です。田中さんはそのとき、ナマコを“加工品の原料”という新たな視点で見つめ、サプリ化できないかと考えていました。

「ナマコは誰が、何のために食べているのだろう」という素朴な疑問から調べていくと、日本やアジア、特に中国では、古くから“美容・健康・滋養強壮”の目的で食されてきたことがわかりました。また日本産ナマコの多くは乾燥

農林水産物の活用

加工して中国に輸出されているという情報を得て、中国へ調査に出掛けたりもしました。「科学的な根拠は何もないのですが、食べると何らかの効果がある、というようなことで好まれているようでした」と田中さん。

果たして本当に効能があるのだろうか…。田中さんは長男の孝憲さんに相談し、彼の母校、近畿大学工学部の生体工学研究室に、ナマコの成分分析を依頼します。すると56%を占めるタンパク質のなかに、かなりの高率でコラーゲンが含まれていることが判明。コンドロイチン、サポニン、セラミド等の有効成分の含有も確認できました。

裏付けが得られたことで、ナマコを活用したサプリメントの開発に、本腰を入れて着手することに。新たなビジネスチャンスの開拓に向けて、田中さん親子は二人三脚で事業に取り組みます。



発売間近のサプリメント製品(左)、素材となるナマコ粉末(中)とナマコから抽出したコラーゲン(右)

ファンド採択が精神的な後押しに

サプリ開発が具体化したことで、さっそくナマコの乾燥粉末を錠剤にしてサンプルを製作しました。「私自身、1年間摂取していますが、3カ月ぐらいで五十肩がよくなった。膝が痛くて座れないと言っていた母親も3カ月ぐらいで座れるようになり、だんだん楽になってきています。これは身内のデータなので信憑性が薄いかも知れませんが、引き続きモニターを募集してさらに多くのデータ収集を継続中です」。

並行して、製品化のための準備も進めました。まずはコンセプトを絞り込み、ナマコの効能の3本柱“美容・健康・滋養強壮”のうち、“健康”に特化。関節軟骨によいとされる4つの成分、コンドロイチン、グルコサミン、ヒアルロン酸、MSM(メチルサルフォニルメタン)を配合して、健康面にアプローチするサプリとして第一弾を展開することにしました。また、ナマコによるサプリ製造に関する著作権、ネーミングについても登録商標を取りました。

ちょうどこの時期、21(2009)年度のファンド事業募集

を知り、応募します。そして採択。「ファンドのおかげで研究がスムーズに進みました。それはもう絶対的にそう。この事業計画が認められたということは、客観的評価が得られたということですから、弾みがついた。希望が持てたし、後押しされた気にもなった。非常にありがたい取り組みだと思えます」。

フェアトレード的な新たな仕組みを

現在、原材料のナマコは、漁師仲間数人の協力を得て確保しています。一人あたりの漁獲量には制限があるため、多量のナマコが必要な場合は仕入れることになるのです。実はこの仕組みこそが、田中さんが本事業計画において最も重視していた点です。

ナマコの仕入れ値に底値を決めて、生産意欲を持ってもらえる適正価格での取り引きを保証したい。自分の生産物に付加価値が付けば、みんな一生懸命獲ってくる。そんなにナマコの需要があるなら、養殖に取り組む人が出てくる可能性もあります。「原料がなければビジネスはできない。私は生産者と連携しながらフェアトレード的なシステムで“新しい漁業”を確立していきたいと考えています。ささいな取り組みですが、それが漁業者の、ひいては地域漁業の、さらには産業全体の経済発展に結びついていくのではないかと思います」。

“いかに社会に貢献できるか”が、ビジネスの基本だと考える田中さんの挑戦は、まだ始まったばかりです。

事業概要

株式会社 磯のや

<http://ocean-origin.com/>

代表：田中史朗

業種：製造販売業(サプリメント、食品)

創業：平成9(1997)年 設立：平成9(1997)年

住所：〒624-0855

舞鶴市字北田辺 112-13

TEL：0773-75-0705 FAX：0773-75-0457